



まちの話題



20 MON

移転先で業務スタート 新宮窓口センター 除幕式

新宮庁舎の老朽化により、新宮窓口センターが新宮高齢者生活福祉センター（新宮町新宮）に移転し、業務を開始しました。

この日行われた除幕式には、篠原市長や三宅市議会議長、地元の方々など14名が出席。施設入口の壁面に取り付けられた幕が外され「新宮窓口センター」の文字が現れると、出席者から大きな拍手が送られました。

新宮診療所や市社会福祉協議会新宮支所が入る同施設。医療、福祉、行政の複合施設として、地域の皆さまにより良いサービスを提供してまいります。

はじける我らの『書道愛』 第27回ふるさとイベント大賞選考委員特別賞 受賞

28 TUE



一般財団法人地域活性化センターでは、地域の個性を活かしたユニークなイベントのうち、特に優れたものを表彰する「ふるさとイベント大賞」を実施しています。

この度、書道パフォーマンス甲子園が「選考委員特別賞」に選ばれ、ルポール麹町（東京都千代田区）で行われた表彰式で、表彰状と盾が授与されました。

当イベントが入賞するのは、平成22年に優秀賞を受賞して以来2回目。選考した審査員からは「究極の青春と感動に溢れた大会」と高い評価を得ました。



今回設置した遊具。③は表紙に掲載

遊具更新工事が完了！ 三島公園こども広場がリニューアル

昨年11月から始まった三島公園こども広場（中曽根町・タコの滑り台がある広場）の遊具更新工事が完了し、3月1日からご利用いただいています。

今回の更新工事では、老朽化していた5つのコンクリート製の遊具を撤去し、新たに最新型のアスレチック遊具など、5つを設置しました。

新しい遊具は、お子さまの遊びやすさと、保護者の目の届きやすさを考慮して、広場内をぐるっと回遊できるように設置しています。ぜひご家族で遊びに来てください。



新しくなった
三島公園
こども広場
に行こう！



25 SAT 1人で悩まないで
四国中央市福祉なんでも相談会開催

市自立支援協議会相談支援専門員連絡会では、障がいに関する日常の困りごとや進路、利用できる福祉サービスなど、さまざまな悩みや疑問について相談できる「四国中央市福祉なんでも相談会」を開催しています。

前身の「事業所説明会」から数えて7回目となる今回の相談会には、障がいがある、またはあるかもしれない方に、さまざまな支援を行っている約70の事業所が参加。会場はしこちゅ〜ホールに設けられた各事業所のブースでは、訪れた本人・家族らの相談に、職員が親身になって応えていました。

学校教育の発展のために
宇摩法人会が教育物品を寄贈

公益社団法人宇摩法人会（三木雅人会長）では、社会貢献活動の一環として、毎年教育機器などを寄贈しています。

今回寄贈していただいたのは、市内の保育園や子ども園に絵本165冊と紙芝居24冊、市内小中学校にノートパソコンホルダーや三脚など52台です。

この日行われた寄贈式で、篠原市長から感謝状が贈られた同会の三木会長は「時代とともに必要な物は変わってきていきます。今後もお手伝いできることがあれば協力させていただきます」と話されました。



20 MON 表敬訪問
大岡詩苑さん（新宮中学校3年）
フェンシングアジア大会に日本代表で出場

昨年度開催された、17歳以下の国内ランキングを決める各大会で、常に上位の成績を取った新宮中学校の大岡詩苑さんが、年間ランキング3位の成績でアジア大会への出場を決めました。

大岡さんは、3月2日からウズベキスタン共和国で開催された「フェンシングアジア・ジュニア・カデ選手権」に個人と団体で出場。個人6位の成績を収めました。「目標のメダルにあと一歩届かず悔しいですが、武器であるフットワークを活かしてポイントを取ることができました」と、大会を振り返ってくれました。

森下泰明さん（中曽根小学校5年）
全国 JOC ジュニアオリンピックカップ 出場

昨年から今年にかけて行われた競技会で、50歳・100歳の背泳ぎと200歳の個人メドレーで標準記録を突破した中曽根小学校の森下泰明さんが、全国大会への出場を決めました。

これまでに挑んだ2回の競技会では、標準記録にわずかに届かず涙を吞んだ森下さん。週8回の練習に自宅から歩いて通うなど、並々ならぬ努力が実り、3月26日から東京辰巳国際水泳場で行われる「第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会」への切符を掴みました。



市長のひとりごと

卯月 四月桜花らんまん

今の季節、冬が来たと思えば夏も来て、春夏秋冬を体験できる。仕事も東西南北、人間が行き交う。それだけ落ち着かないともいえる。

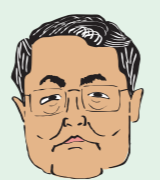
コロナが少し収まってきた。でも、市民も職員も感染者がゼロになったかといえ、そんな簡単にはいかない。花粉症やインフルエンザなど、病はいつチャンスがあるかという顔をして待機している。手のひらに息ふき返し暖をとっていた頃よりは気分的にはいい。桜の便りももう音を立ててやってきそうである。

人が生きていく中、いっぱい哀歓がある。言えばきりが無い。一つひとつ踏みしめて、滑りそうになることも、嫌でも踏み固めながら一歩前へ行くのだ。そうすれば、時として風花が舞


いながら我が身を包んでくれることもあるかもしれない。春はさまざまなイベントがある。腰が痛かろうが膝が壊れそうになろうが、青年の手を借りても参加するのだ。それを選択したのは自分自身だからね。

春は嫌いな季節でしたが、最近そうでもなくなってきた。

今年度も頑張るぞ。



四国中央市長
篠原 実



河津桜に止まるメジロ(関川河川敷ふるさと広場)

27 MON 表敬訪問
三島東中学校吹奏楽部
全日本アンサンブルコンテストに2年連続 出場



2月12日に観音寺市民会館で開催された四国支部大会で、三島東中学校2年の西村あかりさん（フルート・写真左）、魚谷乃愛さん（クラリネット・同中央）、大西風駕さん（サクソクス・同右）が見事金賞を受賞。3月19日にアクトシティ浜松（静岡県）で開催される「第46回全日本アンサンブルコンテスト」への出場を決めました。

篠原市長を表敬訪問した3人は「これまで支えてくれた先生方や仲間への感謝の気持ちを込めて、そして3人が楽しめる演奏をします」と話しました。

22 WED
消し去ろう 家にひそむ 火事のもと
令和4年度防火ポスターコンクール表彰式

市危険物安全協会（尾藤幸治会長）では、市民の火災予防意識の醸成と子どもたちの防災教育の推進を目的に、毎年「防火ポスターコンクール」を開催しています。

この日消防防災センターで行われた表彰式では、家族や消防隊員が見守る中、最優秀賞と優秀賞を受賞した児童3名に、表彰状と記念品が贈られました。

最優秀賞に選ばれた南小学校4年の高橋紅彩さん（写真左）の作品は、防火ポスターとして市内約300か所に掲示されます。

